

福祉科1年 認知症サポーター養成講座受講

平成29年12月26日(火)1限～2限に、福祉科1年生40人が認知症サポーター養成講座を受講しました。サンビレッジ新生苑から講師の先生をお招きし、認知症について学びました。

認知症に関する基礎的理解



認知症サポーターとは？

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人です。認知症高齢者等に優しい地域づくりに取り組みます。

認知症サポーターは認知症を支援する「目印」として、オレンジリングをつけます。「オレンジリング」が連携の「印」になるような町を目指して支援ます。



「オレンジリング」

認知症サポーター数 全国 合計 9,396,047 人 [平成29年9月30日現在]

<生徒の感想>

- ・ 認知症サポーター養成講座を受講して、それぞれの認知症の症状による対応の仕方や関わり方を具体的に学ぶことができました。なかでも、認知症の高齢者がどのような行動をしても否定しないということが大切だと感じました。
- ・ 今日の認知症体験では、とても不安な気持ちになりました。認知症の人の気持ちを理解し、支援者である自分が何をできるか考え、関わっていきたいと思います。
- ・ 今までの介助方法は間違っているということに気がきました。来年度からの実習はもちろん、家族や周りの人が困っていたら、今回学んだことを生かして少しでも手助けしたいと思います。
- ・ 声をかけるときは相手と目線を合わせて、近づきすぎないように距離を保って接していきたいです。